



進路だより①

今市特別支援学校進路指導部 令和6年4月30日発行



ホームページにも掲載しています。

「健康で幸福な人生を送るために必要なのは、よい人間関係だ」

校長 石川 友康



ハーバード大学が84年にわたり2000人以上を追跡調査した研究で、このことが判明しました。人の幸福度や健康と直接関係があったのは、「人間関係」だったのです。人は人との関係の中で成長すると言われますが、本校の子ども達も、在学中に様々な人と出会い、たくさんの「よい人間関係」を築き、人と関わる幸せや喜びを感じながら自分のペースで成長していったほしいと考えています。

もちろん、人と関わる行動は得手不得手があります。でも、「よい人間関係」を築こうとすると、大切なのは共感の正確性（相手の感情を正しく理解すること）よりも、「共感しようとする努力」なのだそうです。理解しようと努力するだけでも、人間関係は大きく改善されるのです。そうやって構築された、安心と安全を与えてくれる人との関係は、将来、子ども達の人生をしっかりと支えてくれる存在となるのです。

そして、もう一つ、こんな調査結果をご紹介します。

「保護者の方が困った時や苦しい時に相談できる人の数が多いほど、お子さまが楽しい気持ちで毎日を過ごせている」という調査結果があります。保護者の方が「困った時に頼れる人数」はお子さまの幸せに大きく影響するのですが、面白いことに、相談した相手の人たちが「どれだけ頼り甲斐があるか」は比較的影響が小さかったのです。つまり、相談できる人の「数」が重要なのです。そして、ご家庭の収入状況などはお子さまの幸せには影響していませんでした。それより大事なのは、保護者ご自身が幸せであることなのです。お子さまを育てていらっしゃる保護者の皆様が、多くの人に支えられているのだと感じられる社会や地域を作ることが、お子さまの幸せにつながるのです。

本校の子ども達にとっての「自立」とは、自分一人ですること増やすことだけではありません。「自立」とは、自分を支援してくれる人、困ったときに助けを求められる人や場所をできるだけ多く作ることもあります。本校の子ども達が本校を卒業するとき、子ども達や保護者の皆様に支援して下さる環境が整い、そして多くの「よい人間関係」に包まれるよう、学校として精一杯の取組を進めて参ります。

■ 保護者等の皆様へ（御挨拶）

今年度より、進路指導を担当いたします 中山 玄德（げんとく）です。

児童・生徒の皆さんと保護者の皆様にとって『笑顔があふれる未来』となるよう、『分かりやすい進路』を目指します。

『笑顔があふれる未来』にするためには、御家庭と学校が息を合わせて進んでいくことがとても大切だと考えています。これからも、進路に関して御協力いただくことがあるかと思いますが、御理解の程、よろしくお願いいたします。



■ 進路に関するお知らせ

◎ 進路に関する情報について

『進路情報保存版』として、以下の情報をお知らせします。ぜひ御活用ください。

- ① 令和6(2024)年度 進路に関する年間行事〔予定〕
- ② 障害福祉サービスの紹介
- ③ 地域の主な障害者支援施設等

◎ 進路に関する行事について

主に高等部で行われる実習報告会や卒業生講話等は、お子様の所属する学部を問わず参観可能です。

希望される場合は事前に連絡帳などでお知らせください。

◎ 福祉施設の見学について

今年度より、福祉施設の見学を希望する場合は、御家庭から直接、見学希望の施設へ連絡していただき、見学日時を調整いただくこととします。

つきましては、以下のことについて御理解・御協力をお願いします。

- 見学日時は、施設の営業時間内で御調整ください。
- 見学前：見学日時が決まったら学校（担任）へ『見学先』『見学日時』『見学者（児童生徒同行の有無）』をお知らせください。
見学後：見学の様子を学校へお知らせください。

【施設見学における留意点】

- 産業現場等における実習（高等部）や社会体験学習（中学部）は、学習活動として位置づけられた活動であるため、依頼や日程調整を行わないようお願いします。
- 児童・生徒が見学する場合は、長期休暇中の見学を推奨しますが、平日の見学も可能です。なお、平日の見学に伴う出席の対応は、欠席の場合『家事都合』、その他は『遅刻』『早退』となりますので御了承ください。
- 見学における怪我等については学校で加入している保険（日本スポーツ振興センター）が適用になりませんので御注意ください。